

Frente

フレンテ

フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

vol.43
2010.10

一人ひとりの働き方、生き方

11/12・13
フォーラム予告!

男女共同参画フォーラム

～みえの男女^{ひと}2010～

三重県男女共同参画推進条例
制定から10年

これからの働き方は?

11/21 女性に対する暴力防止セミナー
ストップDV!

「知らないともえない暴力がある
～あなたの大切な人を守るために～」

Report

男性講座

たのsea! うれsea! 大航海

～パパを狙いうちっ!～

三重そうぶん

シネマスクエア2010

NPO法人全国女性会館協議会
東海・北陸ブロック研修

コラム

三重の女性史研究会
『三重の女性史』

は全国の財産である

シリーズ現代社会を生きる2
「生涯(夫婦)賃金と生涯支出②」

Essay

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

石坂 督規^{とくのり} さん

チャレンジ!

フレンテナ人々 株式会社ぎゅーとら

人事部教育課長 荒木 由佳 さん



男女共同参画フォーラム

～みえの男女^{ひと}2010～

2010年11/12(金) 11/13(土)

三重県男女共同参画推進条例制定から10年

一人ひとりの働き方、生き方

～条例制定10年および第2次男女共同参画基本計画策定に向けて～

1日目(12日)の全体会第1部では条例および三重県男女共同参画基本計画策定に尽力された元三重県男女共同参画審議会会長の武村泰男さんに、条例制定当時のお話をいただきます。

また第2部では「第2次男女共同参画基本計画策定に向けた県民の意見を聴く会」を開催します。

～「一人ひとりの働き方 生き方」をテーマに～

○11/13 基調講演「一人ひとりの働き方、生き方～ディーセント・ワークを目指して～」

NPO法人「女性と仕事研究所」代表理事の金谷千慧子^{ちえこ}さんから、現在の社会情勢などを踏まえ、「働き方」の現状や課題についてお話いただきます。ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現を目指して、私たち「一人ひとりの働き方、生き方」を考えましょう。

※基調講演講師が片山善博さんから変更となりました。



金谷千慧子さん

○育児のための休暇取得の伊勢市 鈴木健一市長にもご登壇いただきます!

首長として東海地区初となる育児のための休暇を取得された、伊勢市の鈴木健一市長にお越しいただき、育児のための休暇を取得された感想や今後についてお話しいただきます!



鈴木健一さん

○11/13 シンポジウム「自分らしく“働き方”を選択できる社会へ」

企業で管理職として働く女性や学童保育など地域で子育て支援に関わっている女性、また、コーディネーターには三重大学の石阪督規さんをお迎えしてシンポジウムを開催します。

○「労働」や「社会参画」に関する相談ブースやお役立ち情報コーナーを開設!

「パートタイム労働個別相談コーナー」や社会参画に向けた「チャレンジ相談」など、「働くこと」に関して、専門の相談員による相談を受けられます。また、改正育児・介護休業法など法律や制度に関する情報はじめ、「働くこと」に関する情報を収集できます!

～子育て中の方へおすすめワークショップ～

1日目(12日)には、著書『子どもの心のコーチング』で有名な菅原裕子さん(NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事)によるワークショップや、2日目(13日)には、7月に立ち上がった「ファザリング・ジャパン東海」と共催で「パパの子育てで何が変わる? パパたちのトークセッション!」を開催します!

※そのほか情報発信や統計など、さまざまなテーマによるワークショップやパネル展示を開催します。

また、2日目(13日)のランチタイムには、農業分野で活躍する女性から野菜の加工品販売や女性起業家によるパンやお菓子の販売、パパ&じいじカフェなども開催! 11/6までの予約制のお弁当(お茶つき700円)もあります。たくさんの参加をお待ちしています。



▼申込方法

「男女共同参画フォーラム～みえの男女2010～」チラシの参加申込にご記入の上、郵送、FAX、または直接フレンテみえ事務室までお申込みください。電話、E-mailでのお申込は参加申込書をご参照の上、必要事項をお伝えください。チラシはフレンテみえHPからダウンロードできます。

フォーラムをデータで予習しましょう！

「再就職」ができる環境？

このグラフを見ると三重県は全国と比べて、「結婚や子育てで一時的に仕事を辞めるが、時期が過ぎたら再び職業を持つ」という意見が2倍近くあります。しかし“時期が過ぎ”て再就職するとき、正規職員として就業できるのか、非正規就業として働くのか。変化する人生のステージにおいて、さまざまな働き方が選択できる環境が大切です。あなたの選びたい働き方は、どんな働き方ですか？

「M字型曲線」って？

右のグラフは、「M字型曲線」または「M字カーブ」と呼ばれています。女性の有業率を表す折れ線がアルファベットの「M」のような形をしていますね。この「M」の谷からは、結婚・出産・子育てで仕事を辞める女性が多いことがわかります。三重県はこのM字の谷間が全国より深くなっています。

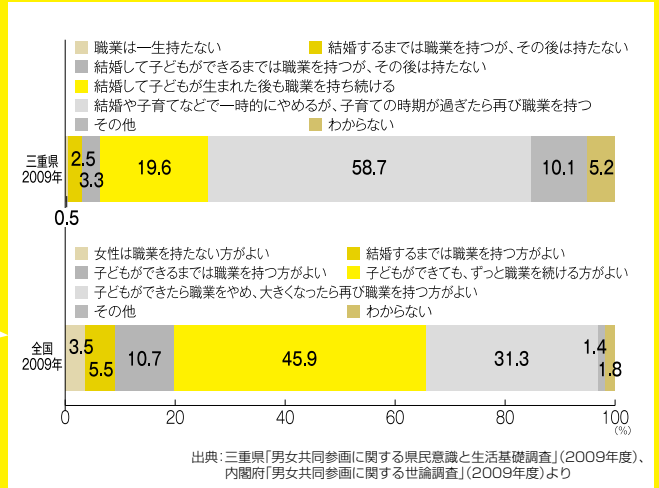
結婚や子育てで仕事を辞める女性が多いのは「当たり前」？

男女共同参画先進国の北欧諸国では、日本の労働力率のようなM字の谷がなく、一生を通じて就業継続する台形型に近い形が多くみられます。またアジアやアフリカ諸国でも、M字の谷がない国は多数あります。女性も男性も働かなければ生活が成り立たない実情もあるでしょうが、結婚や子育てで仕事を辞めることは、国際的にみると「当たり前」ではありません。性別に関わらず、全ての人が働き方を自分で選択できる社会づくりが必要です。

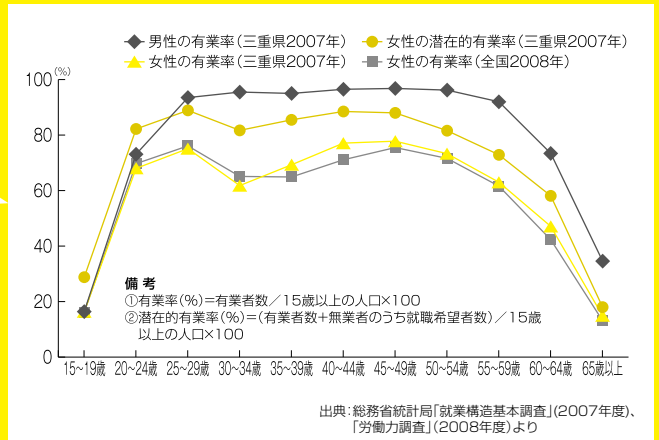
11/12(金)「統計でみる三重の男女共同参画～三重の労働の状況をピックアップ!～」

フレンテみえでは、平成23年度「統計でみる三重の男女共同参画」データブック発行に向けて、県民の皆さんと学習会を開き、協働で作成中です。「男女共同参画フォーラム～みえの男女2010～」では、三重県の労働の状況を統計から読み解くワークショップを開催します！ぜひご参加ください。

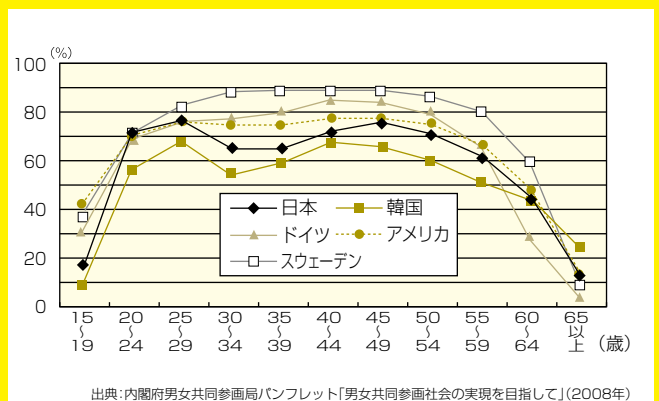
女性の職業へのかかわり方



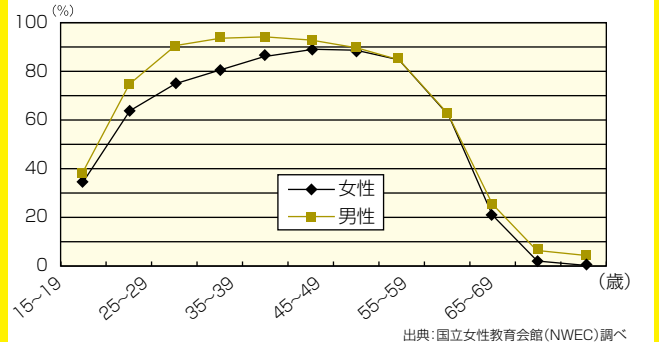
性別・年齢階級別等労働力率(国内)



女性の年齢階級別労働力率(国際比較)



例：フィンランド(1999年)



ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

「会社を辞めようと思うのですが…」最近、卒業生たちがこう言って私の研究室を訪れることが多くなりました。数年前には、あまり見られなかった光景です。こうした卒業生に限らず、せっかく努力して就職した会社を、数年で「辞めたい」と思ってしまう若者が近年特に多くなっているような気がします。

では、なぜ辞めたくなるのでしょうか。実際に相談を受けたケースでは、そのほとんどが、「夜まで働かされる」「休みがない」といった「長時間労働」を原因としています。労働環境の厳しさを考えれば辞職を促すアドバイスもできるのですが、現実的に、景気の低迷が続く中で新たな就職先を見つけることも難しいのではないかと。そんな疑問やジレンマを抱えながら、卒業生たちと向き合う毎日です。

実際に、一般労働者の年間総労働時間はこの10年来横ばいですし、また、週60時間以上働く雇用者の割合も10%前後で推移しており、減少の兆しは見えません。積年の課題でもある有給休暇の取得率にしても、2000年以降、50%を下回る低い水準で推移しています。景気の上昇、そして労働条件の改善がなかなか進まない中で、若者たちは、安くて、身軽で、パワフルな働き手として「長時間労働」を課されることも多いのでしょう。倒産や減益のリスクを抱える企業としてみれば、比較的安価で従順な若年労働者は、先が見えないこの不安定な時代に不可欠の存在なのかもしれません。

しかし、今日の若者たちは、「大人たち」が思うほど、会社や組織に対して「従順」ではありませんし、自分の生活を犠牲にして働くほど「パワフル」でもありません。大半の若者は、労働時間を可能な限り短縮し、余った時間を家庭生活や趣味の時間に振り向けたいと考えています。「働くことは嫌ではないが、働くこと以上に大切なものがある」と考える若者たちが、年々増えつつあると言ってよいでしょう。

待たなしの企業は、これまで通り安価で忠実な若年労働力を希求し、イマドキの若者は、自身の生活を犠牲にするような働き方を忌避する。こうしたそれぞれの思惑が絡み合い、今日、それが企業と若者との間に「溝」を生み出すに至っています。この溝を埋めるために、政策として進められているのが、「仕事と生活の調和」つまりワーク・ライフ・バランス（以下WLB）という発想に基づく取組といえるでしょう。

WLBというと、何よりも労働時間の縮減という課題に直面するわけですが、単純に「削る」だけでは問題解決には至りません。そもそも、企業の減収や労働者の賃金カット、勤労意欲の低下につながっては元も子もありませんので、労働を一層集約化、効率化するための手段についても同時に検討していく必要があります。あわせて、労働以外の時間、つまり、家庭生活や子育て、さらには地域活動や自己啓発活動に費やす時間を充実させる仕掛けや工夫も必要となるはずで。

若者が希望とゆとりをもって働ける社会を構築するためにも、また、ライフスタイルの変化に応じた多様な働き方を制度的に保障するためにも、産学官民がWLBの実現に向けて知恵を出し合い、相互に連携する仕組みづくりを進めていくことが、いま、求められています。

執筆者紹介

フォーラム シンポジウムで
コーディネーターをしていただきます！

石坂 督規 さん

三重大学人文学部准教授。三重大学キャリア支援センター長。現在、いなべ市、桑名市、亀山市、伊勢市で男女共同参画審議会会長、同推進委員会会長を務める。男女共同参画や若者の自立、社会参加に向けた取組みを支援するほか、多くの自治体や地域のまちづくり、地域再生に携わる。



チャレンジ！
フレンテナ人々

働くお母さんのプチインタビュー！

「スーパーマーケットぎゅーとら」に入社されたきっかけは？

学生時代、ぎゅーとらでレジのアルバイトをしていました。当時は女性が「総合職や営業を希望している」と堂々と言える時代ではありませんでしたが、ある企業説明会でぎゅーとらの人事の担当者から「菓子等のバイヤー（仕入れの仕事）に若い人を採用したい」という話を偶然聞き、「ぜひやってみたい！」と思いました。人とは違う斬新な新しい仕事に魅力を感じ、入社しました。

入社時は、まだまだバイヤーの仕事は男社会だったそうですね。

入社した頃に、男女雇用機会均等法が施行されました。しかし当時は、“女性のバイヤー”ということでも珍しがられました。

バイヤーとしてある合同商談会に行った時に「あなたが来るところじゃない」と言われました。今振り返ると、当時はそれだけ男性中心で進んでいたんだと思います。今、就職活動中の女性が「営業をやりたい」と言うのを聞くと、時代も変わったなと感じます。

性別に関係なく登用を！

女性は結婚、出産で休職するなどブランクができて、管理職への昇進に男性よりも時間がかかってしまうことが多くあります。私はどんどん女性を主任やリーダー職に登用していけばよい、男や女というのは関係ないのではと思っています。

働くお母さんの代表！

ある従業員から「荒木さんは、働くお母さんの代表や」と言われたことがあります。私は働きたい、結婚もしたい、子どもも欲しいと欲張りでした。大変なこともあります。特に女性は子育てと仕事の両立などの葛藤も多いと思いますが、相談相手が必要な場合には、経験者として、また人事担当者として力になれるのではと思っています。

荒木さんにとって仕事のやりがいはなんですか？

「自分を必要としてくれる人がどこかにいる」と思えることが私のやりがいです。また自分自身の仕事を通して、社員自身も周りから必要とされているんだと思ってもらえるように関わっていきたいと思っています。

フォーラム シンポジウムで
お話をうかがいます！

株式会社ぎゅーとら 人事部教育課長 荒木 由佳さん



株式会社ぎゅーとら

【代表者】代表取締役 清水 秀隆【所在地】三重県伊勢市西豊浜町 655-18【従業員数】1,105（男319・女786）名（2010年9月現在）

フォーラム シンポジウムで
お話をうかがいます！

フォーラムへのメッセージをいただきました！

ファミリーサポートセンター事業で、子育てを助けてほしい人の支援として、一時的にお子さんをお預かりする業務を行っています。働くお父さんやお母さんにとっても必要な取組みとして、フォーラムでは事業紹介をはじめ、今後ますます必要と考える取組内容についてお話しします。



NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク 理事長 秋山 則子さん

前身である「伊勢こども劇場」が、1999年にNPO法人格を取得すると同時に理事長に就任、現在に至る。

Report

8/29(日) 男性講座
たのsea!うれsea!大航海
～パパを狙いうちっ!～



三重県・伊賀市・県民との協働で企画・運営し、講師にはスーパー主婦として活動されている山田亮さんにお越しいただき、盛りだくさんの内容で開催しました。まずは、みんなで一緒にお弁当作りに挑戦！最初はぎこちなかったパパたちも次第に協力して手際よくお弁当を作っていました。

午後からは、津ヨットハーバーに移動しヨット体験。子供たちもパパたちも大はしゃぎ！

その後、父と子に分かれてワークを行いました。子どもワークでは、洗濯物たたみや、ゴミの分別などのワークを、パパワークでは家事・育児・地域への関わりについて普段相談できない悩みが語られ、意見交換を行いました。みんなパパとしての悩みを抱えているのだとわかり、これからの子どもとの接し方のヒントになったようです。

今回参加されたパパたちは、11月に開催されるフォーラム2日目(13日)でも活躍予定です。

フォーラム情報を要CHECK！

今後、市町でも開催していきますので楽しみに！

9/10(金)～12(日)
三重そうぶん
シネマスクエア2010



11月13日(土) フォーラム2日目でも、お昼のプログラムで女性のオーナーたちによるお菓子の販売があります！どうぞ楽しみに♪

総合文化センターの新企画「三重そうぶんシネマスクエア2010」！映画上映だけでなく、おいしい企画が盛りだくさんの3日間でした。2日目の11日(土)は、フレンテのイチオシ「女の子ものがたり」「THEダイエット！」の2作品を上映。チケットお持ちの方の特典として「限定ランチマーケット」や旭理容美容専門学校の協力「自分磨き体験ブース」、「THEダイエット！」関口祐加監督とのシネマカフェをお楽しみいただきました。

限定ランチマーケットって？

県内のカフェ、パン・菓子店6店舗の女性のオーナーが「他にはないものを」と味、素材にこだわった品々を持ち寄りました。オープン前から行列ができ、笑顔で買い物を楽しむ人であふれていました。早々に売り切れる商品もあり、大人気の企画となりました。

9/16(木)、17(金)
NPO法人 全国女性会館協議会
東海・北陸ブロック研修

全国各地の男女共同参画センター等職員がフレンテみえに集まり、「これからの男女共同参画関連施設のあり方」についての研修を行いました。

一般公開の基調講演では、国の「第3次男女共同参画基本計画」策定に関わられている桜井陽子さんから、当計画の基本的な考え方、特徴についてお話いただきました。その中でも新たに加わった「男性・子どもにとっての男女共同参画」「貧困など生活上の困難に直面する男女への支援」等15の重点分野について解説いただきました。また男女共同参画センターや地域でさらなる推進に向けて、国の施策や社会情勢を踏まえ、地域の特徴をとらえた実効性のある取組の必要性について話されました。

講演に続き「さまざまな主体との連携・協働、中間支援」や「課題解決型事業」について5つの事例紹介やグループ討議を行いました。参加者同士「研修で得た情報とネットワークを今後活かしていきたい」ということを確認し合いました。

※桜井陽子さんに執筆をいただいた参画ゼミ「豊かな国の女性の貧困」が開講中です。フレンテHPでぜひご覧ください。



桜井 陽子さん (財)横浜市男女共同参画推進協会理事・統括本部長、NPO法人全国女性会館協議会常任理事、男女共同参画会議男女共同参画基本問題・計画専門調査会委員



▲グループ討議の様子



国では、平成22年中に「第3次男女共同参画基本計画」策定に向けた取組が進められています。7月に「第3次基本計画策定に当たっての基本的な考え方(答申)」がなされ、「第2次基本計画」から2増えた15の重点分野が掲げられました。(1)これまでの施策の効果と、当該分野において男女共同参画が十分に進まなかった理由、(2)今後の目標、(3)施策の基本的方向と具体的な取組について述べられています。

11月12日～25日は
「女性に対する暴力をなくす運動」
の期間です。



2010/11/21 地域開催 女性に対する暴力防止セミナー ストップDV!“知らないともえない暴力がある” ～あなたの大切な人を守るために～

今年度は、「DVが被害者や子どもに与える影響」をテーマに昨年6月に男女共同参画センターをオープンした名張市と共催で、開催します。

児童虐待の防止等に関する法律ではDVを子どもに見せることは虐待であるとされています。しかし、実際にDVが被害者や子どもにどのような影響を与えるのかについてはあまり知られていません。DVを受けているために子どもの世話ができなったり、母親が子育てをするものだという社会通念が根強いために、子どもが問題行動を起こしたりしても、被害者に非難の目が向けられてしまうことがよくあります。そのため被害者は孤立し、ますます子育てが困難になることもあります。

問題の裏にDVがあるかもしれないという視点が周囲にあれば、被害の発見につながるとともに、二次被害を防げるのではないのでしょうか。このセミナーで、今私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

講師：森田 ゆりさん（エンパワメント・センター主宰）
朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」
（財団法人横浜市男女共同参画推進協会 企画・制作作品）
演者：名張音訳グループ「こだま」
三重県からのDVに関する報告
報告者：宮元 隆弘さん
（三重県健康福祉部子ども局子ども家庭室長）
詳しい情報は、フレンテみえHPからもご覧いただけます。



11月21日（日）13:30～16:00
会場：名張市役所1階 大会議室
（名張市鴻之台1番町1番地）

▼申込不要
託児をご利用の場合を除き、事前
申込は不要です。当日会場へお越
しく下さい。
託児無料（3ヶ月～小学生）
ご希望の方は11月4日（木）まで
にお申込ください。
手話通訳あり



執筆者 石川 謙二さん

1963年津市に生まれる。一般企業で営業職を務めながら、内閣府男女共同参画ヤングリーダー、NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ協会会員、津市学童保育連絡協議会顧問などさまざまな社会活動にも参画している。



シリーズ 現代社会を生きる2

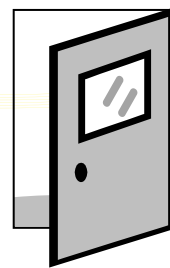
生涯（夫婦）賃金と生涯支出②

前回の情報誌 **Frente** vol.42では、フレンテ太郎・花子の世帯（夫婦とも30歳、未就学の子どもが2人）だと、今からの生涯の支出が1億9380万円必要だと申し上げました。今回は、片働きの場合と、共働きの場合の生涯（夫婦）賃金を考えてみたいと思います。

片働きで、60歳定年まで働き生涯平均年収を500万と想定すると、500万円×1人×（60歳－30歳）＝1億5000万円になります。一方、夫婦でワーク・ライフ・バランスの考えをもとに、共働きで65歳まで働き、それぞれの生涯平均年収を300万と想定すると、300万円×2人×（65歳－30歳）＝2億1000万円になります。この300万円という数字、これから迎える日本の低成長時代、少子高齢社会、そして国際賃金の競争などから考えると近い将来現実になってくると思われます。

また、三重県のような地方では、4大資金以外に5つ目として、自動車資金がかかってきます。仮に、150万円の新車を30歳代から70歳代まで5回夫婦が購入したとすると、150万円×2人×5台＝1500万円の資金が必要になります。

私は、早いうちに夫婦でこのようなライフプランニング（生涯収支）を考え、ワーク・ライフ・バランスを話し合うことこそ、家族の中での男女共同参画を実践する第一歩だと思います。



三重の女性史研究会の扉

フレンテみえで活動される「三重の女性史研究会」のメンバーから男女共同参画の視点でみた身近なことをコラムでお届けします。



執筆
者
三重の女性史研究会
佐藤ゆかりさん

『三重の女性史』は全国の財産である

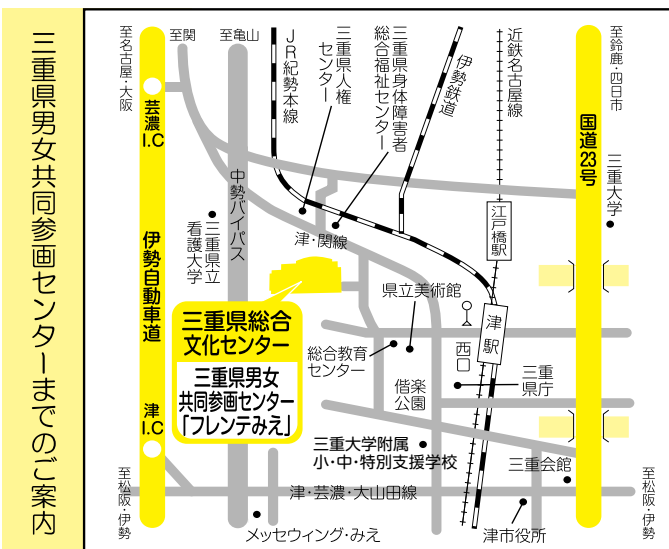
今年9月、5年ぶりに「全国女性史研究交流のつどい」が開催された。私自身が『三重の女性史』調査過程で見つけた市川房枝らを中心とする反DV運動を紹介した論文(『酔っ払い防止法』の再評価とその限界)のタイトルで、国立女性教育会館『研究ジャーナルVol.14』に掲載)をもとに、新参者の私も「家族と性」分科会でレポートを行った。せっかく完成させた『三重の女性史』から何か報告をとも思ったが、全国の女性史研究家に、よりアピールできるのは、一地域の話題よりも全国的なテーマだろうとの個人的な判断だった。

ところが、これは大きな誤りだった。事前打ち合わせで司会の方から「この酔っ払い防止法が、三重でどう運用されたのかの報告が欲しい」と言われた。実は論文や、女性と子どものヘルプライン MIE『繭 No.8』には、その辺りのことを書いたのだが、今回は時間の都合もあり割愛してしまっていた。また同じ分科会の報告者 Y さんからは「私は大阪の『女子鑑』と『三重婦女読本』との比較研究をしているが、『三重の女性史』には『三重婦女読本』の記述が少なく残念だ」と言われた。三重の女性史は全国女性史研究の共有財産として期待され、すでに本は精読もされている。嬉しい半面、自分の認識の甘さや、責任の重さを改めて感じた。

その他、このつどいで得たものは非常に大きい。それは参加した「三重の女性史研究会」のメンバーも同じであろう。今後はそれぞれの成果をもとに、三重の地につけて、互いに頑張っていきたいと思う。

フォーラム
ワークショップで!

『三重の女性史』はフレンテみえの調査研究として県民と協働で作成、明治～2000年にかけての女性の歴史を通史・聞き書き・年表の3部構成で紹介しています。なぜ男女共同参画が必要なのか改めてみつめ直していただける貴重な資料です。県内の図書館・男女共同参画センター等でご覧いただけます。また、「男女共同参画フォーラム～みえの男女2010～」の2日目(13日)には共催でワークショップ「女性を政策・意思決定の場へ歴史と戦略」を開催します。どうぞご参加ください!



2010年度三重県内男女共同参画フォーラム等情報

津市

「津市男女共同参画フォーラム わあむ津」
平成23年1月29日(土)
会場：サンヒルズ安濃
問い合わせ先：津市市民部 男女共同参画室
TEL: 059-229-3103

鈴鹿市

「ジェフリーふえすた2011」
平成23年1月30日(日)
会場：ジェフリーすずか
問い合わせ先：鈴鹿市男女共同参画センター「ジェフリーすずか」
TEL: 059-381-3113

松阪市

「男女共同参画 松阪フォーラム～人・まち・夢の集い～」
平成23年2月5日(土)
会場：産業振興センター
問い合わせ先：松阪フォーラム実行委員会(松阪市男女共同参画室内)
TEL: 0598-53-4339

四日市市

「はもりあ週間」
平成23年3月1日(火)～3月12日(土)
(3月12日講演会実施予定)
問い合わせ先：四日市市男女共同参画センター「はもりあ」
TEL: 059-354-8331

休館日 毎週月曜日
年末年始
(12月29日から
1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分

※新博物館建設工事のため駐車場の一部が使用できません。土日祝日には津駅から総文までのバスが20分に1本運行するように増発しておりますので、公共交通機関でのご来場をお願いします。

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL: 059-233-1130 FAX: 059-233-1135
URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>
E-mail: frente@center-mie.or.jp

